

令和3年度 第2回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時:令和4年3月16日(水) 午前10時～

場所:恵那市役所 災害対策室

1.開会

2.会長あいさつ

3.副市長あいさつ

4.令和4年度主要事業の紹介

5.議事

(1) 報告 令和3年度恵那市市民意識調査について

(2) 議題 1. SDG s 未来都市について

議題 2. 地方創生関係交付金事業の効果検証について

(3) その他 企業版ふるさと納税について

6.閉会

7.出席者の数・・・13人中10人(以下のとおり)

	氏名	選出団体等	備考	出席
1	青山 恵美子	恵那市民生委員児童委員協議会		出席
2	市川 祥子	恵那商工会議所		出席
3	岩井 慶次	恵那市防災研究会		出席
4	小澤 清子	公募		欠席
5	紀岡 伸征	恵那市社会福祉協議会		出席
6	芝田 幸代	恵那市恵南商工会		欠席
7	國枝 悟	恵那職業安定所		出席
8	伊藤 孝行	十六銀行恵那支店		出席
9	西尾 愛子	公募		出席
10	西尾 ひろみ	恵那市農業員会		欠席
11	服部 敦	中部大学	会長	出席
12	平林 道博	恵那市地域自治区会長会議	副会長	出席
13	村松 訓子	恵那市教育委員		出席

8.傍聴・・・なし

1. 開会

定刻となったので開会する。私は進行の企画課長の和田です。よろしくお願いします。
本日は欠席が3名ある。柴田委員、西尾ひろみ委員、小澤委員が欠席。

本日の会議は公開で、会議録も公表する。了承いただきたい。終了時間は11時45分の予定。

2. 会長あいさつ

■会長 今日では議事が豊富で盛りだくさんだ。前向きに新しい取り組みをしている恵那市に敬服する。さらに前向きな取り組みになるように活発な意見を期待する。議事進行に御協力いただきたい。

3. 副市長あいさつ

■副市長 昨日岐阜県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が4時半から開催された。まん延防止が3月21日までになっており、それをどうするか議論だった。新規感染者数が落ち着いてきて、病床使用率等が50%を切ってきたので、3月21日をもってまん延防止を解除するよう国に要請することになった。3月21日で解除されるが、引き続き感染症対策に注意してほしい。

今日は令和4年度の主要事業を紹介する。新しい事業が、種まきをしたものがようやく芽が出てきた。この芽を育てて大木にしていきたい。皆さんにもそういう観点で見てください助言いただきたい。

4. 令和4年度主要事業の紹介

■事務局（進行） 令和4年度主要事業について事務局から説明する。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行） 説明したものは、今3月議会で審議している。一部の紹介なので、御意見・御質問はこの後の議事の中でお願いする。

これより議事進行は会長にお願いする。

5. 議事

(1) 報告 令和3年度恵那市市民意識調査について

■会長 次第を確認してほしい。この順で進める。

報告事項。事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 質問があれば。

■委員 感想と、来年度に向けての改善要望を2つ述べる。

感想。令和2年度の市民意識調査結果に比べて、設問が30問に減らされ、シンプルになり分かりやすくなった。以前のは煩雑でやりにくかった。改善された。その結果、回収結果が63%まで上がったのは、アンケートが簡単になって市民が取り組みやすくなったからというのが大きいと考える。

あわせて、今回の会議のために市民意識調査結果ということで、令和2年と令和3年の比較をしてくださったことでも、勉強になった。経年変化を追うことが大事だと思う。過去と比べるのは大事だ。

来年度に向けての改善要望。ホームページでも発表されており中身について個別には差し控えるが、データの後にある2、3行のコメントの充実を図ってほしい。おざなりで、下のグラフのことを言っているだけで、切込みや分析が弱いと思う。例えば、調査結果の2ページの「医療環境について」。0.4%増加と言っているだけだが、下のグラフでは、「やや悪い」から「普通」が11.7%も増えている。恵那市の医療環境について、基礎的な部分がきちんとできてきたとみんな評価している。施策として今後インパクトのあるものを打ち出せば、みんな「良い」の方にすると思う。国保の診療所の大規模改修なども大きく宣伝してもらって、「普通」だけでなくさらに良いところを目指していると言っていけるといいと思う。

それから、その上の「緊急避難場所を知っているか」について。これは去年のデータから違ってないか。去年は87.5%。今年3%も増えたのはすごいと思ったが。後で確認してほしい。あわせて、右側の「現在の子どもの数と理想的な平均」も、総合計画では括弧内の3から2の人数を引いたのが指標になっているが、括弧内のことではないと思う。

いずれにしろ、調査ごとに縮小するというのが総合計画の目標だったので、きちんと達成できていて、みんなで喜び合いたいと思うので、成果をもっと宣伝してほしい。

問題点としては、1ページの「身近な暮らしについて」。快適であると答えた方が1.4%多くなったと言っているが、実際の不便さを感じた人の数は19.2%。総計では目標7.6%。本気でやらないといけない。「至急対応を考えます」とか、もう少し問題意識をもってやらないとできない。特に、SDGs未来都市の提案書にも、2030年度には4.5%にするという目標を掲げているが、このことをどのように解消していくかをコメントで問題意識を提案することが大事だ。

この2、3行のコメントがとても大事で、市民への啓発を兼ねて、市民が読むという前提で改善してほしい。

■会長 事務局。

■事務局 災害時の緊急避難場所について。令和 2 年度は無回答の数字が入っていない。今年度は無回答を含めて計算している。令和 3 年度と 2 年度を、無回答を含めたもので計算し直して改めて比較しているの、昨年度の数字と変わっている。

現在の子どもの数と、現実的理想的に持ちたい子どもの数の平均。括弧内が 20～44 歳の平均した子どもの人数。総合計画は、こちらの方についての指標になっているので、括弧内について比較するのが本来の総合計画の指標になっている。

■会長 分からないことがあったら確認していただくとして、説明についての御意見は前向きな御意見として受け止め、来年の取りまとめに生かしていただきたい。

(2) 議題 1. SDG s 未来都市について

■会長 議事 1 について事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 既に都市の選定に向けての申請を終えているということだが、選定後に未来計画を作るということで、皆様の意見を未来計画に反映させたいということで、今日意見をいただきたいということだ。広範な内容だが気づいたことがあれば。

■岩井委員 資料 19 ページ②多様なステークホルダーとの連携。これは従来言われていることだが、主要事業にすばらしい事業がたくさんあり有り難いが、9 ページ、「重要給水拠点を設置し、給水管敷設費用」、これは水道課でやられるといいと思うが、私も聞いたが、避難所になるようなところの受水槽までの本管を整備するという中身だった。私もには有り難い事業だ。防災的に有り難い。

ここまではいいが、その後、この前、東中学校で防災委員会の子どもたちと訓練を行なった。学校の施設にあるものを使って自分たちで水の確保をできないか、意見を交流した。熊本地震では 1 週間以上、長いところでは 1 カ月以上断水があったことを話した。子どもたちが校内を見て、受水槽があるという意見が出て、そこから 2 年間かかって災害用の給水装置、4 つぐらい蛇口が付いているものを大井町に買ってもらい、子どもたちに訓練してもらって、できた。これぐらいならできるという有り難い言葉をもらった。そうすると、地域としては、市役所から来る給水車を待たなくてもすぐ水が出せる。それに子どもたちが気づいた。こういったことも、多様なステークホルダー、協働というところ。行政のハードではなくソフトウェア、ヒューマンウェアというのを事業に少し盛り込んでほしい。それができれば SDG s の精神に則っていくと思う。

■事務局 参考にさせていただく。

■会長 ほかに。

■村松委員 女性の支援の新規のところ、生理用品を各小中学校に設置していただける

というのを、恵那市もそういうところが手厚くなるといいと先生方と話をしていたら、年明けに迅速に対応していただけた。生徒たちも困り感や不安感がなくなった。ささいなことでもすぐに着手していただけたことに感謝している。

ジェンダー平等やSDG sの取組みも学校教育に入れてくださいということで、授業の一環としてどこかで触れておけばいいかなという風で流れてしまっただけでは何にもならないと思う。ただ学習内容が増えるだけで。こういった資料を見ると、恵那市の取組みもよく分かり、これをかみ砕いた形で児童や生徒にパンフレットやポスターなど、SDG sやジェンダー平等の授業をするときの学習要綱みたいな。簡単な分かりやすい資料で、恵那市がこんなことをしています、子どもだけができることは何か考えてみましょうというような授業が展開されていくといいと思う。食品ロスを出さないとか給食を食べきるとか、身近な簡単なことで考えさせることが重要だと思う。どこを見ても漠然とした表現で、具体的な表現がなかったので、そんなことも考えてほしい。

■会長 SDG s教育についての意見だ。教育担当から回答はあるか。

■教育長 SDG sを今回うたうわけだが、恵那市教育委員会は学校教育、生涯学習においてはこここのところは基盤にあり、それぞれの地域での子どもたちの参画の仕方や、学校教育においても、環境問題やエネルギー問題を、教科とは別に取り組んでいる。そういう中で、昨日、SDG sをテーマにして川延先生という方に御講演いただいた。恵那市のロータリークラブが費用面等をやってくれた。恵那市中の8中学校全ての2年生を対象にやった。3年生は卒業しているので。コロナ禍なので西中の生徒4クラスに文化センターにバスで来てもらい、大ホールで。あと7中学校はそれぞれ学校でリモートで講演と、講演後に各学校でのSDG sにかかわることの生徒の活動を発表し、その後川延先生に指導、講評をいただいた。子どもたちも充実感を持った。こんなこともきっかけにしながら令和4年度さらに進めていきたい。

■会長 時間が迫っているので、SDG sについてまだあれば事務局にコメントを送ってほしい。

議題2. 地方創生関係交付金事業の効果検証について

■会長 議題2について、事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 ジバスクラム恵那の取組みについて、恵那も素材に良いものがあり、取組み自体が素晴らしいと思うが、これが拡大するために認知の向上が必要になってくると思うので、認知の向上のために何ができるか、しっかりとやってほしい。SDG sの支援を受ければさらに拡大できると思う。ぜひ頑張ってもらいたい。

ほかに何かあるか。

[発言する者なし]

■会長 では原案を尊重して進めてほしい。

(3) その他 企業版ふるさと納税について

■会長 その他、企業版ふるさと納税について説明を受けてコメントいただき、時間があれば全体を振り返り意見をいただく。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 意見があれば。

企業版ふるさと納税に限らず、今日振り返って、コメントできなかったことがあれば。

[発言する者なし]

■会長 SDGs の取組みも今後計画づくりをするので、後日気づいたことがあれば事務局に寄せてほしい。

事務局に返す。

6. 閉会

■事務局（進行） 本日は長時間ありがとうございました。

委員の皆様には3月31日で任期満了になる。今日が最後の会議となる。2年間ありがとうございました。頂いた意見を今後の市政の事業展開の参考にさせていただき進んでいきたい。

反省点として事務局の説明が長く申し訳なかった。次回以降皆さんの議論が活発にいただけるよう工夫したい。

最後に平林副会長から閉会の挨拶をいただく。

■副会長 委員の皆様には御苦労さまでした。岐阜県では3月21日に新型コロナウイルスまん延防止重点措置が解除されると聞いているが、手放しで喜べない。ウィズコロナの時代が来て、多くの事業にコロナの影響が大きかったことを今日思った。今後はその中で、行政も市民も知恵を出し合って難しい時代を乗り越えていくことが重要だと思った。委員の任期が終わるが、今後の市政について御意見をいただきたい。5月から6月にかけてSDGs 未来計画の採択がされると聞いたので、楽しみにして、閉会する。

[閉 会]